

■CARES

家具のお手入れ方法

永く家具をご使用いただくために必要な日常のお手入れ、メンテナンス方法をご紹介します。

家具には、木や革、金属などの素材が使われています。素材の特性をよく理解し、正しくお手入れすることでいつも美しく愛用いただくことができます。

合皮・ビニールレザー・ウレタンレザー張り

日常のお手入れは柔らかい布で乾拭きしてください。化学雑巾は表面が変色・変質する場合がありますので使用しないでください。整髪料、消毒液、ウエットティッシュなどアルコールなどの溶剤により表面が変質・変色する場合がありますのでご注意ください。汚れが目立つ場合は薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きの後乾拭きし、十分に乾燥させてください。濡れタオルなど長時間水分が付着した状態を放置すると表面が変色・変質する場合があります。直射日光や暖房器具など熱源を避けて設置してください。強い光や熱により変形・変質・変色する場合があります。別の塩ビ製品、ABS樹脂、木材塗料面などの異材樹脂製品や本革、ジーンズなどの染料を用いた製品と長時間接触させないでください。色移行や変色する場合があります。



布地張り

ほこりがつきやすいので毎日のお手入れが大切です。毛あしの長い柔らかいブラシでブラッシングするか、電気掃除機でほこりを吸い取ってください。汚れ、シミは中性洗剤を布にしみ込ませて軽くたたくようにして取ってください。擦ったりしますと、汚れ、シミが広がる場合がありますのでご注意ください。



本革張り

日常のお手入れは柔らかい布で乾拭きしてください。化学雑巾は表面が変色・変質する場合がありますので使用しないでください。汚れが目立つ場合は薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きの後乾拭きし十分に乾燥させ、革専用クリーナーを柔らかい布に付け磨いてください。靴用クリーム、シンナーやベンジンは変質・変色する場合がありますので使用しないでください。本革は天然の組織のため、ご使用につれて自然なシワやたるみが出る場合があります。



籐の椅子

日常のお手入れは柔らかい布で乾拭きしてください。使い込むにつれ、表面に毛羽立ちやささくれが起こることがあります。衣服が引っかからないようハサミや爪切りで切り取ってください。



スチール

普段は柔らかい布で乾拭きしてください。汚れが目立つ場合はお湯で薄めた中性洗剤で軽く拭き取り、その後よく水拭きしてから、柔らかい布で乾拭きしてください。通常は塗装、メッキなどで保護していますが、手垢や汚れ・湿気がついたままにしたり、酸性のものが付着したままにすると変色や錆の原因となりますのでご注意ください。



テーブル類

日常のお手入れは柔らかい布で乾拭きしてください。化学雑巾は表面が変色・変質する場合がありますので使用しないでください。汚れが目立つ場合は薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きの後乾拭きし十分に乾燥させてください。天然木天板は表面を塗装で保護していますが、筆圧や食器類の底でキズが付くことがありますので下敷きやコースターなどを敷いてご使用ください。高温の調理器具や食器を直置きすると表面が白濁することがあります。シンナーなど溶剤を含む薬品に弱いためご注意ください。汚れた場合は水拭きしてください。表面に凹凸のあるエンボスタイプの天板は微粒な汚れが凹部に入り拭き取りにくくなる場合がありますのでご注意ください。



レジン・ロープ・クッション

定期的に柔らかい布やブラシ等を用いて水や汚れを落としてください。汚れがひどい場合は、薄めた中性洗剤を布に浸み込ませ拭いてください。洗剤を使用した後は、表面に洗剤が残らないよう必ず水拭きし、乾拭きして水分を除去し、乾燥させてからご使用ください。※アルコールや、化学薬品（シンナー・ベンジンなどの溶剤、強い酸・アルカリ性の薬品）は、色落ちや素材を劣化させる恐れがあるため、絶対に使用しないでください。※洗剤や薬品を用いる場合は、目立たない場所で試して問題がないことを確認してからご使用ください。



チーク材

チーク材本来の風合いを生かした、オイル仕上げをしています。定期的にメンテナンスしていただくことで、天然木の経年変化を楽しむことができます。※家具が濡れた状態で使用すると、色落ちや衣服への色移行に繋がります。必ず乾燥した状態でご使用ください。日々の清掃は乾拭きをお願いします。屋外で使用する場合、木部の色は3ヶ月ほどで変色していきます。定期的にオイルの塗布を行い、よく乾燥させてご使用ください。変色する恐れがありますので、必ず目立たない位置で試してから、塗布してください。定期的に柔らかい布やブラシ等を用いて水や汚れを落としてください。汚れがひどい場合は、薄めた中性洗剤を布に浸み込ませ拭いてください。洗剤を使用した後は、表面に洗剤が残らないよう必ず水拭きし、乾拭きして水分を除去し、乾燥させてからご使用ください。※化学雑巾やアルコール、化学薬品（シンナー・ベンジンなどの溶剤、強い酸・アルカリ性の薬品）は、色落ちや衣服への色移行、素材を劣化させる原因になるため、絶対に使用しないでください。※洗剤や薬品を用いる場合は、目立たない場所で試して問題がないことを確認してからご使用ください。長くご使用いただくと木肌が出てきますので、サンドペーパーなどで表面を削ったのち、表面保護剤を塗布していただく必要があります。

